



公明党議員会

とみ なが えつ こ
富永悦子



人口減少対策としての結婚支援の推進を！

質問

2020年の婚姻数は戦後最少であった。婚姻数の減少による出生数の減は、総人口の減少をもたらし、長期的に経済や社会を大きく変える重大な出来事である。婚姻数が減少する中、結婚支援は重要であると考えますが、今後どのように推進していくのか。

回答

令和2年度の市民アンケートの結果では、結婚への不安や問題として、出会いの機会の不足や結婚・生活資金の不足などが挙げられていた。こうした不安を解消するため、結婚支援センターでの出会いの場の充実や、婚姻に伴う住宅費用などを支援する事業に取り組み、少子化対策を推進する。

ひと言

結婚の希望はあるが交際や結婚にあと一步を踏み出せない方への支援が必要です。



織姫クラブ

くろ かわ よし お
黒川 貴男



運転免許証を返納した高齢者への取り組みを！

質問

運転免許証の返納は、公共交通手段の乏しい地方に暮らす高齢者にとってハードルが高く、要介護状態になるリスクの上昇や社会参加の減少につながるといった懸念がある。車社会における高齢者の現状と免許証返納後の高齢者への取り組みを聞きたい。

回答

本市の65歳以上の高齢者のうち、7割近くの方が運転免許証を保有している。高齢者の免許証返納促進と返納後の移動手段の確保策として、本市では生活路線バスの回数券の交付や運賃の割引、介護保険制度を活用した生活支援サービスを行っており、今後も公共交通の在り方を検討していく。

ひと言

デマンド交通と組み合わせ、きめ細かい公共交通の構築に努めるべきと考えます。



織姫クラブ

おお たに や よ い
大谷 弥生



消防団を中核とした地域防災力の充実強化を！

質問

令和3年4月、総務省消防庁長官より通知された「消防団員の報酬等の基準の策定等について」では、非常勤消防団員の報酬等の基準などが示された。同通知は団員の処遇の在り方を大きく変える内容であるが、本市はどのように受け止めて改善していくのか。

回答

同通知を重く受け止めており、地域防災の中核として活動する消防団員の苦勞に報いるには、処遇改善に取り組むことが重要であると認識している。令和4年度から消防団員個人へ報酬等の支給を開始するほか、出動手当等についてもより適正な支給を行うため、消防団と協議を行っていく。

ひと言

団員が地域全体から応援され、感謝をされていると実感できる取り組みも必要です。



万和クラブ

おお す が ゆ き お
大須賀 幸雄



新クリーンセンターに発電設備を設置して最大限に活用を！

質問

地球温暖化の防止には、太陽光などの再生可能エネルギーの活用が寄与すると考えている。新クリーンセンターの建設では、ごみの焼却により生み出される蒸気を使用する発電設備を設置し、再生可能エネルギーとして有効活用すべきではないか。

回答

第3次足利市環境基本計画では、脱炭素社会と循環型社会の実現を基本目標としている。新クリーンセンターでは、これまでの場内や場外での熱利用に加え、ごみの焼却により発生する蒸気を利用した発電も新たに計画している。蒸気を有効活用できるように着実な整備に向けて取り組んでいく。

ひと言

ごみを再生可能エネルギーとして活用し、化石燃料の消費が減ることを望んでいます。